

審査基準の目安（配点：100点）

着目点	配点	評価点	評価
提案内容	40	40	事業趣旨を踏まえた非常に効果の高い企画であり、実現性が十分である。
		32	事業趣旨を踏まえた効果の高い企画であり、実現性が十分である。
		24	事業趣旨を踏まえた効果が期待できる企画であり、実現性が十分である。
		16	事業趣旨を踏まえた効果、または、実現性が不明確である。
		8	事業趣旨を踏まえた効果、または、実現性が乏しい。
京都市内 団体等との ネット ワーク力	15	15	多様な市民・事業者・NPO等との連携・協働を示す事例が豊富で、プロジェクトの具体的な展開構想がイメージできる。
		12	多様な市民・事業者・NPO等との連携・協働を示す事例があり、プロジェクトの展開構想がイメージできる。
		9	多様な市民・事業者・NPO等との連携・協働を示す事例は限定的であるが、プロジェクトの展開構想はある程度イメージできる。
		6	多様な市民・事業者・NPO等との連携・協働を示す事例は限定的で、プロジェクトの展開構想も不明瞭である。
		3	多様な市民・事業者・NPO等との連携・協働を示す事例がなく、プロジェクトの展開構想もイメージできない。
資料作成 能力	15	15	的確で分かりやすい。
		12	ある程度分かりやすい。
		9	一部分かりにくい部分もあるが、内容は理解できる。
		6	補足説明がないと分かりにくい。
		3	分かりにくい。
実施体制	15	15	統括管理者、主たる業務担当者及びコーディネーターが十分に配置された体制と、プロジェクト創出に必要な運営の工夫点が多数示されている。
		12	統括管理者、主たる業務担当者及びコーディネーターが配置された体制と、プロジェクト創出において必要な運営の工夫点が示されている。
		9	統括管理者、主たる業務担当者及びコーディネーターが配置された体制は示されているが、プロジェクト創出に必要な運営上の工夫点は示されていない。
		6	統括管理者、主たる業務担当者及びコーディネーターの配置体制の提示がなく、プロジェクト創出に必要な運営上の工夫のみ示されている。
		3	統括管理者、主たる業務担当者及びコーディネーターが配置された体制も、プロジェクト創出に必要な運営の工夫も示されていない。
実績	10	10	5件以上の同種業務の実績がある。
		8	4件の同種業務の実績がある。
		6	3件の同種業務の実績がある。
		4	2件の同種業務の実績がある。
		2	同種業務の実績が2件未満である。
見積金額	5	5点×（応募者中の最低見積額）／（応募者の見積額） ※ただし、小数点以下は切り捨てる。	

※1 統括管理技術者及び主たる業務担当技術者が同業務の実績を有している場合は、合計2件の業務実績とみなす。